



明日の二百十日

荒れは絶対にならない

多少くづつ、いて雨を降らすか

頗る平穩の模様（小名濱測候所）

農家の最大厄日である明日の二百十日は稲作が非常に好成績であるだけ一層その結果を氣遣はれてゐるが小名濱の観測では左記の如く平穩な天候だと云はれてゐる

今三十一日朝に於ける氣壓の配置は八丈、大島方面に高氣壓を見せ低氣壓は朝鮮の南部から北海道

追ひとぬ去らぬ

執念な鐵道の赤字

海水浴と舊盆の平驛八月收入旅客數では非常な減少

平驛では今八月の收入を黒七十三人も前年の三萬二千字にしやう爲め海水浴と舊盆の出入は減じてゐる

休日 廿五日 祭 一ヶ月廿五日 祭 一ヶ月廿五日 祭

移出商組合を創設計畫 濱三郡木炭同業組合では過般不況對策の協議會に於て

農村の自力更生に信用購買組合創設 村内各種團體も後援し 學村一致を以て大野村に

小名濱消防のごたく 漸く圓滿解決の模様 鈴木同町長の仲裁を以て

此不況に物價の漸騰 殊に苦しい自動車業

倍値になつたモビール油

木綿物と舶來品の類

石城地方に於ては生糸の高騰の打撃は呉服屋に最も著しく、繭高を懸ける諸物も購買力の乏しい所へ一

物等その他替爲關係の變動も甚だしく、石油類の價を見せ砂糖並に石油類の價は一割高殊にモビールの倍

四倉市場の秋蘭取引 買馴四一圓八〇錢

谷口長治儀葬送の際には御多忙中 慇々御會葬被下御厚情の段難有奉 深謝候乍寄儀以紙上御禮申上候、 八月三十一日 平町二丁目 妻トヨ 外親戚一同

俳句 ころあたりと云ふのがネ ○フムこれは又あまり寫り過ぎて散文的だね大方子規先生が俳句改革の烽火を△イエそんな意味で申上げ

薬師祭と臨時列車 今明両日に亘り 東北の名刹阿彌陀樂師の六圓五十錢の平均四十一圓八十錢前日の買馴小四十

俳句 ころあたりと云ふのがネ ○フムこれは又あまり寫り過ぎて散文的だね大方子規先生が俳句改革の烽火を△イエそんな意味で申上げ

豚コレラ

恐るべき

豚の傳染病(五)

豚疫とコレラ

蠅や野鼠の駆除に努めること

一般の清潔を勵行すること

疑はしい病豚や斃死豚のある場合は最寄の警察署又は駐在所に届出で且つ獸醫師の診断を受けること

發生の場所は警察官吏や家畜防疫委員の指揮を受けて病毒の根絶をはかること

豚コレラ、豚丹毒には免疫血清が出来てゐるから近くに本病が發生した時は之れを注射すると安全である免疫血清は注射後直ちに免疫の効力を生じ約三週間は病毒に對する豫防性を有してゐるが次第になくなるから三週間乃至四週間に反復注射をしなければならぬ又免疫の血清は發病の初期に豫防量の約倍量を注射すると病氣を治療する効力も有つてゐる

豫防疫は各病共に有効なるものが出來てゐるので其の應用はそれらの傳染病豫防以上に卓効を發してゐるから近くには病氣はない様な場合にはこの

豫防疫の注射を行ふがよい。

淋病最新薬

美神 一週分四〇〇
淋薬 二週分八五〇

代理店 平野邊藥局

ガソリン モビール油 日本石油株式會社

油問屋 内關店

支店 耶山前通
支店 長八二二三
支店 茨城縣本郷前
支店 關本郷前
電話長平海七三
電話長平海七三
油槽所 出張所
平町四丁目 郵便局前



地方代理店 平野邊藥局
特約店を募集す

消化 胃腸 痛 嘔吐 下痢
超仁
平野邊藥局

模範 裁縫 高島屋洋服店
洋服の 御用命は 高島屋へ
平町駅前 電話三八六番

金融 伊東社
生命 保險 證書 即時御融通致シマス
債權 御取立 御依頼ニ應ジマス
債務 ノ整理 御依頼ニ應ジマス
平町南町廿三夜側

洋酒 食料品は 上總屋へ
新川町のソーダ水用のシラップ
特賣(三十三度)一圓十錢

雨露に晒す程 煙突は 朝日
石綿セメント製 朝日煙突
谷屋商店

内科、小兒科 大森醫院
醫學士 大森 勇
平町南町 (電二五八番)
化粧タイル、販賣並に設計請負
ダイヤル、の御相談は當店へ
親切第一を、モットーとします

大谷建材商店 平野邊藥局

内科、小兒科 高久病院
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平町田町、電話五一三番
院長 醫學士 高久忠

市原醫院
外科、小兒科、梅毒、淋病
平町 (電話一四一四番)
藤沼醫院
電話五〇七番
平野邊藥局

染毛赤染がらま 八雲
黒髪之美!
平野邊藥局